

日中民間緑化交流 友愛植林視察団が訪中

中国では、長江や黄河などの中上流域における森林の減少が大洪水や洪水の原因の1つとなり、また、砂漠化の進行により農地や放牧地などが劣化し、深刻な影響を与えている。このうち、1998年の長江流域等の大洪水の発生を契機に、中国では自然災害の防止や森林資源回復のための森林活動が国民的な運動として展開されている。こうした中国の植林活動を支援するため、小淵総理大臣は1999年7月の訪中の際、100億円規模の基金設立構想を発表され、これを受け日中両国政府間でその仕組み作りが行われ、平成11年、両国政府間において国際約束が交わされ「日中民間緑化協力委員会」が設置された。

第1期・第2期植林が、堤防と長江の間(約8℃最低気温13・8℃まで行われた(武穴長江防風300m)の地帯に不法伐平均気温16・8℃、降護岸林プロジェクト)視察のため、川手正一郎団長他5名が6月15日(火)武穴市は長さ6300キロの揚子江中流の位置にある、竹細工が有名な町であるが、98年揚子江・長江流域の大洪水により、多大な災害をこうむった。この大洪水は水量が多かっただけではなく、水位が高かったことでも記録的であり、100年に1度ともいわれる洪水であったため、周辺の住民が受けた打撃は著しいものであった。前回訪れた折に見た状況で

黄崗市武穴における 水土流失防止プロジェクト

防風護堤林

湖北省東端に位置し、当該地は海拔1,060m、亜熱帯季風気候に属し日照時間が長く、最高気温は39・

2002年1300ha
2003年150ha
2004年150ha
*苗木:ポプラ・水杉
第一期植林地帯(13

実施地域の概要
*黄崗市武穴は揚子江中流の北岸、大別山南

事業内容
*植林地帯(全体計画)



第1期 植林直後(2003.1.20撮影)



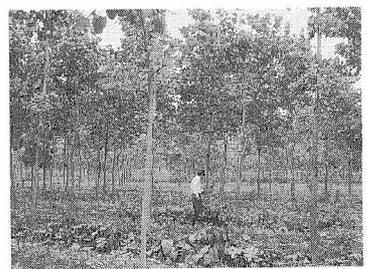
環境に適応して著しく成長したポプラ(2004.6.16撮影)



植林をする日中青年



地元の学生ボランティアと川手団長



枝払いをしている地元の住民



灌水構

第2期 植林地帯
木と木の間に豆類が植えられている

衆議院議員 鳩山邦夫氏 当財団理事

環境問題を熱く語る!!

「前号から続く」

中川：以前先生が講演で「夢の島を公園にして、野鳥を呼ぶ」というのを呼んでおられましたが、私はあれは、非常にいい案だと思います。難しいことだと思いましたが、予算としては、りそな銀行に投じた3兆円ぐらいの金額で、全部引けるはずですよ。(笑)サハラに採れる天然ガスを、日本国中に供給します。各家庭には変換機といふものを付けて、水を取り出し、その水を燃料電池、いわゆる水素発電機で発電させるのです。そうすると、川の流れを集めてメタンガスを発生させてそれで自動車走らせるという、いわゆるバイオの一種でしようけれども、バイオの研究を進めています。

壮大なパイプライン構想

鳩山：私も民主党の鳩山代表議事十二人で考えているところがあるのですが、これは名前を見ても意味がわからないので、聞き手

中川治男 局長

見えなかった。視察一行も、喜びと安堵の思いで満たされた。
*活着率:96%
また、地域住民にもこのプロジェクトの大切さを伝えるため、視察団一行は帰路ついた。

第2期植林地帯(150ha)では植林をする一方、下草刈りを地元ボランティアの学生が行った。学生は人懐っこい若者達で、川手団長を取り囲み、何かと話しかける。川手団長も、懸命に「筆談」を以てその熱意にこたえていた。言葉による直接の会話はなくとも、漢字を有する文化の兄弟の

が徹底されていて、定期的に管理・育成作業(枝払い、下草刈り)が順調に行われていた。また土地を豊かにする為に豆類を植えるなど工夫がされておられ、地域住民の誇り期待がうかがえる。

うが「パイプライン」の天然ガスをパイプラインで運ぶのは理想に近いのではないですか。中川：凄く研究という海道から沖縄まで、太いパイプラインを引くのは、幹線ですね。膨大な計画に思えるので、予算としては、りそな銀行に投じた3兆円ぐらいの金額で、全部引けるはずですよ。(笑)サハラに採れる天然ガスを、日本国中に供給します。各家庭には変換機といふものを付けて、水を取り出し、その水を燃料電池、いわゆる水素発電機で発電させるのです。そうすると、川の流れを集めてメタンガスを発生させてそれで自動車走らせるという、いわゆるバイオの一種でしようけれども、バイオの研究を進めています。

中川：「自然環境を人間は壊しているわけですから、それを取り戻すために、何かをやらなければならない」といふのが、今の世帯の課題だと思います。政治が一番遅れているのは、中川：「日本国も世界のまな方向からの動きが、今日日本に有難うございました。」

府の方々に盛り上げていってほしいです。鳩山：一番は、本日は環境新党を作った環境新党が政治的なパワーをもつことが一番大事、一番近い、速いのかもしれない。だから、私も10年以内で言っても9年以内にならなければ、4・5年内にはやつて、それが私の最大の仕事だろなと思っております。鳩山：「経済、経済」といっているのは、人類は救われたいと思っておられるんです。経済が成長するということは、基本的にそれだけエントロピーが増大するんです。エントロピーが増大すれば、地球は温暖化するし、おかしなことが起こるんです。中川：「そのように考えたいです。」鳩山：「私がしゃべった通り、書いてみると人を幸せにしたいとか、人を怖がらせるだけだということ批判をする人がいるのですけれど、怖がってもしらなければ絶対解決はしませんから。」

